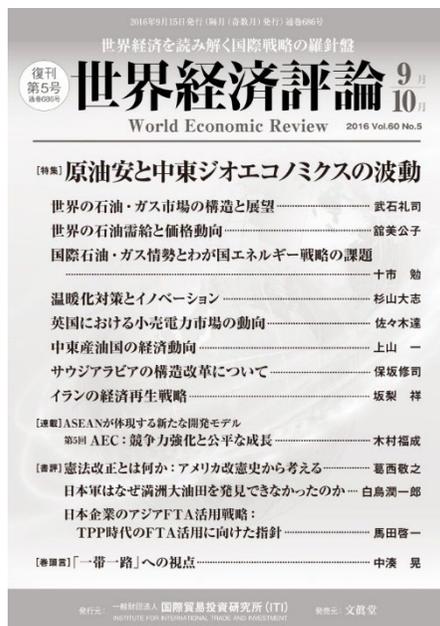


本論文は

世界経済評論 2016年9/10月号

(2016年9月発行)

掲載の記事です



世界経済評論

定期購読のご案内

年間購読料

1,320円×6冊=7,920円

6,600円

税込

17%

送料無料

OFF



富士山マガジンサービス限定特典

※通巻682号以降

定期購読
期間中

デジタル版バックナンバー 読み放題!!



世界経済評論 定期購読



☎0120-223-223

[24時間・年中無休]

お支払い方法

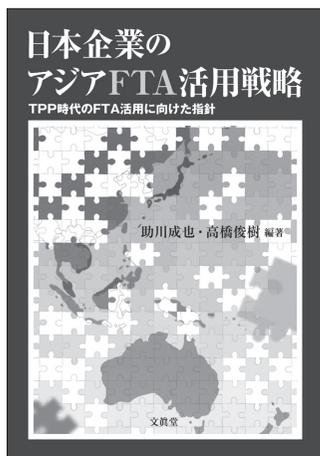
Webでお申込みの場合はクレジットカード・銀行振込・コンビニ払いからお選びいただけます。
お電話でお申込みの場合は銀行振込・コンビニ払いのみとなります。

Fujisan.co.jp

雑誌のオンライン販売

日本企業のアジア FTA 活用戦略 : TPP 時代の FTA 活用に向けた指針

杏林大学名誉教授 馬田 啓一



[編著者] 助川成也 (すけがわ せいや)
日本貿易振興機構 (ジェトロ) 海外地域戦略主幹
高橋俊樹 (たかはし としき)
国際貿易投資研究所研究主幹

[発行] 文眞堂, 2016 年2月

[判型] A5 判, 235 頁

[定価] 本体 2400 円+税

世界貿易はメガ FTA (自由貿易協定) 時代に突入した。TPP (環太平洋パートナーシップ) の登場で、アジアでは RCEP (東アジア地域包括的経済連携)、ASEAN 経済共同体、日中韓 FTA など他の FTA をめぐる動きも加速している。だが、日本を取り巻く FTA ネットワークがどんなに整備されても、日本企業が FTA を利用しなければ何の意味もない。韓国よりも低い日本の FTA 利用率をどう見るべきなのか。

「アジアは FTA を構築する時代から企業戦

略に生かす時代に入った」というのが、本書の主張である。メガ FTA 時代に日本企業の強みをどのように生かしていくべきか。本書は、FTA によって変容する通商秩序の行方を見据えながら、グローバル化の実態と、アジアの FTA が日本の経済と企業に与える影響を検証しつつ、日本企業の FTA 活用戦略について考察している。

本書の論点は3つ挙げられる。第1に、今や原材料の調達から生産と販売まで、グローバル・サプライチェーンの効率化が日本企業の競争力を左右するといっても過言でない。日本企業の国際生産ネットワークはアジアでどのように拡大・深化しつつあるのか、どのような課題に直面しているのか、その実態に迫っている。

第2に、日本企業がサプライチェーンの効率化を目指すためには、FTA を積極的に活用し、FTA の関税・非関税障壁の削減効果を取り込む必要がある。ASEAN や日中韓を中心とする東アジアの FTA ネットワークの拡充が日本企業に与える影響と効果、および対応について実証的な分析を行っている。

第3に、FTA 利用上の問題や課題は多い。ジェトロのアンケート調査でも FTA を利用していない企業が多く、制度面の問題がその理由として挙げられている。FTA 原産地証明手続きの簡素化、FTA 利用に関する中小企業への支援強化などは喫緊の課題だ。

以上のように、本書は企業の FTA 利用について、その実態、事例、制度や政策、問題点などを多角的に分析している。メガ FTA 時代の企業の FTA 活用に向けた指針をまとめた FTA 解説書として、企業の担当者間違いなく役立つ必携の一冊といえよう。(うまだ けいいち)